

TOWN TOPICS

「やりがいある。」高校生一日看護体験

7月26日(水)に開催しました高校生の一日看護体験研修に、高島市内と大津市内の高校から3人が参加しました。

当日は、病院の概要やルール説明、そして保健師・助産師・看護師への道のビデオを見た後病棟に行き、看護を実際に体験しました。患者さまの食事を運んだりシーツ交換をしたり、また食事介助や看護支援システム(PC

入力)の見学など、限られた時間の中でさまざまな体験をし、「看護師さんの仕事は大変だけど、やりがいがあると思う」と頼もしい感想も話してくれました。

「看護のすばらしさ」を彼女たちにどれだけ伝えられたか不安ですが、数年後に看護の現場で会えることを楽しみにしています。

(公立高島総合病院)



白熱! 地区対抗
新旭スポーツ大会

7月22日・23日、新旭体育協会主催の新旭スポーツ大会が開催されました。梅雨の合間の怪しいお天気でしたが、オープン種目を含む6種目で熱戦が繰り広げられました。

優勝: 新庄地区
準優勝: 熊野本地区
第3位: 藁園地区

(新旭振興会)



第41回滋賀県
消防操法訓練大会

去る8月6日(日)に滋賀県消防学校で開催された第41回滋賀県消防操法訓練大会に、市消防操法訓練大会で優秀な成績を収められた朽木地域のチームが出場され、日頃の訓練の成果を発揮されました。

成績
ポンプ車の部 第7位
小型ポンプの部 第8位
(消防本部総務課)

びわ湖を美しく!!
~早朝のボランティア活動に汗する~

今津中学校ボランティアグループと赤十字奉仕団今津地区のみなさん、そして環境を守るいまづの会が協力して、7月8日(土)に湖岸と今津川の清掃活動を行いました。

午前7時、北浜周遊基地に60人が集結、3班に分かれて作業を開始し、2時間の清掃活動で、軽トラック2台分のごみを収集しました。

早朝からボランティア活動に参加してくれた中学生に、賞賛の声が寄せられました。(今津支所 住民課)



マキノ西緑の少年団、「みどりの奨励賞」受賞

7月28日に野洲文化ホールで開催された第17回緑の少年団全国大会記念式典において、「みどりの奨励賞(全国で3団体)」に選ばれたマキノ西緑の少年団が、(社)国土緑化推進機構から表彰されました。また、団員の黒川佳那さん、木下恵里佳さん、野崎美沙恵さんが代表して自然観察や里山での活動についての発表を行いました。

同団体は、マキノ西小学校の4年生から6年生の23人で構成され、自然を愛し緑を守り育てる心を育むことを目的に、校区の地域の人たちと一しょに里山学習や通学路の清掃など活動を行なっています。特に、全国的にも数少ない「やまおやじの森」の学習に力を入れており、今後の成果が楽しみです。

(森林水産資源開発課)

*やまおやじ...萌芽更新を繰り返し、幹が瘤状になったクヌギ等の老木のこと。

市長日記



一粒ひとつぶの粉から芽が出て、お日様や水や土、そして微生物などの自然の恵みと人の汗と知恵によって大きな稈りもたらされます。何と一粒の種粉から1.050から2.040粒のお米になるそうです。さて、お茶碗一杯のご飯は何粒でしょうか。1粒か2粒の種粉からできたことになるようです。畑の野菜や果樹をみても、種の小ささと葉や果実の見事さの対比に感嘆するばかりです。日照りが続く雨を乞い、風が強いと倒伏や落果を案じ、豪雨には河川の氾濫を心配します。日本再発見塾で来てくださった小川後楽さんが「山河が人をつくる」と仰ったことを思い出します。

お盆になると、近所のおっちゃんやおばちゃんと一緒に顔をお曇りされていきます。この間まで短かすぎます?スカートで学校に通っていた娘さんがいつの間にかエリガントになっていたり、赤ちゃんを抱いていた。考えてみたら私たちも、何億という遺伝子から選ばれ、何十億を超える遺伝子の働きによって生かされています。私の中の自然の摂理ですね。

先日、福祉政策に熱心な自治体で、権利擁護と認知症理解の研修をしました。権利擁護という難しいですが、弱い立場の方の権利を守るということなんです。

まず、認知症や徘徊が進んでも、閉じ込められたり、縛られたりすることがないように制度で守る。また消費者保護の面では、分からないのに高額の商品を売りつけられたり、投資に誘い込まれ何千万円も失う事例がありますので、それらの予防に取り組み

むことです。クーリング・オフという訪問販売や通信販売の解約手続きを、ためらわずに用いたら被害を防げる場合も多いようです。心配事があれば、まず誰かに相談することが大事です。世界一の長寿社会に生きる私たちは、財産の継承も含め、暮らしの新たな守りを一緒に考えていく段階に入りました。市も専用電話を設けていますので、遠慮せずご相談ください。

- 高齢者の総合相談窓口 ☎ 22-0193
- 消費生活相談窓口 ☎ 25-8125

海東英和 拝

シリーズ
わたしの郷
高島を目指して
その九

思い出シリアター
「メモリアリウム」

◆記憶や智慧の価値
長い人生の中で蓄えてきた様々な記憶や智慧は、個人の財産としてかけがえのないものですが、社会的にも貴重な財産になると考えられます。時に記憶は、歴史的な事実証言として貴重な場合もありますが、ある世代が共通して持つような体験の記憶や思想は、それがあまりに身近で当たり前であるためにその価値が軽んじられ、やがて歴史からすっぽり抜け落ちてしまふ恐れもあります。

◆思い出映す「メモリアリウム」

本市は歴史や自然に恵まれ、日々の暮らしの中で様々な生活の知恵を培ってきました。こうした歴史資源や生活文化などは、これまでも郷土史(誌)などに編集されるほか、学校などで高齢者から子どもたちに語り継がれたり、体験を通して伝承する活動が展開されています。また、高齢者から昔の生活や習慣を聞き取り、絵画として表現する方法で記録を残してこられた地域もあります。このように思い出や記憶を目に見える形で保存し、高齢者の語りを楽しみながら世代間で受け渡す催しが続けばと考えています。

また、思い出や記憶は、その人個人にとって今も生きて働き、それを回想し、語り合う行為は、そ

◆「地域資源としての記憶」セミナー
滋賀県立大学や京都精華大学などでは、記憶や思い出に関わりのある専門家を招いてセミナー(全3回)を開催し、記憶や思い出が重要な資源になるということを事例などをと、市民の皆さんと研究していこうと考えています。ご興味をお持ちの方のご参加をお待ちしています。(参加は無料)

◆「地域資源としての記憶」セミナー

- ▶日時 10月1日(日) 13時30分~16時まで
- ▶場所 「環の郷」交流・研究センター (JR新旭駅から徒歩2分、びわこ銀行新旭支店南側)
- ▶講師 京都大学 霊長類研究所 三上章允 教授(脳科学)
- ▶内容 (仮) 生きた記憶で 老後もいきいき・脳の活性化法
- 問 滋賀県立大学 担当: 上田 090(4279)7533
- 市役所企画調整課 ☎(24)8114

(注)「メモリアリウム」とは、思い出(メモリアル)をフナタリウム(天井に星座や天体の運行を映し出す装置)のように目に見える形で表すことを意味する造語。